

1-7		主題	地域高齢者のニーズと配食サービス	
配食サービス		副題	調理師から見た施設・ボランティア・地域の輪	
ボランティア				
研究期間	6ヵ月	事業所	特別養護老人ホーム マザアス日野	
発表者：調理師 ちょうりし しみずゆうすけ 清水裕介			アドバイザー：高齢者在宅サービスセンター多摩川苑センター長 清水一芳	
共同研究者：管理栄養士 正木直子				
電話	042-582-1661	メール	hino@moth.or.jp	
FAX	042-582-1730	URL	http://www.moth.or.jp	

今回発表の事業所やサービスの紹介	平成11年開所の当施設は特養定員102名、ショートステイ18名、デイサービス52名、居宅、訪問介護、包括支援センター、グループホーム、小規模多機能ホームを併設。職員数約150名。厨房は直営。 配食サービスは日野市社会福祉協議会の委託事業で昼食時提供。平均45食。365日配食し、有償ボランティアによる配達体制を行っている。特養に準じた個別対応を行っており、ミキサー食、きざみ食、糖尿病食、個人の嗜好を尊重した食事など福祉施設ならではの食事を提供。
------------------	---

《研究前の状況と課題》

社会福祉協議会からの委託事業である、配食サービスが始まって6年。当初は1日15食程度であった食数が現在60食を超える事もある。配食の今後の方向性をつかみ、その在り方について提案したいと考えていきたい。



(ひなまつりの日に提供した配食)

《研究の目標と期待する成果》

- ① 食数の増えた背景と、それに応えてきた施設体制・厨房・ボランティア、それぞれどんな工夫をしてきたのかまとめたい。全体像を知ること、厨房でもっと工夫できるところはないのか探りたい。
- ② 配食のニーズは今後増えるのであろうか。地域高齢者の要望は何か調べたい。
- ③ 施設として今後、どのような整備を行うべきか明らかにしたい。現在は厨房設備の関係上、60食以上は難しい。しかしミキサー食や糖尿病食を希望する人は増加している。また年1000冊以上販売する食券は手作りで、販売や管理までボランティア任せでよいのかどうか、考えたい。

《具体的な取り組みの内容》

- ① 施設体制・厨房・ボランティアの工夫を分析する。センター長・管理栄養士・ボランティアの代表者の協力を得てまとめた。
期間：平成21年8月から10月
- ② 日野市の居宅支援事業所ケアマネジャーのみなさんにアンケートをお願いし、地域のニーズについてご意見をいただいた。
期間：平成22年1月から2月
方法：文書によるアンケート調査
無記名方式 返信はファックス
配布：市内32の事業所
返信：35名のケアマネジャーより返信をいただいた
- ③ 配食利用者のヒヤリングを通じた現状と課題の把握を行った。
期間：平成21年10月から12月
方法：電話での聞き取り、又は配達時に直接ご意見をいただく
対象：74名

《取り組みの結果と評価》

- ① 日野市の高齢者は増加傾向にあり、市内全体の配食数も増えている。しかしマザアスだけが6年で約3倍に伸びている。それはスピーディな受け入れ体制・きめ細かな個別対応・ただ配るだけでなく利用者に「しゃべるのが楽しい」と評判のボランティア、三位一体のサービスがあるからこそ現在80名の登録を超える施設になった事がわかった。
- ② ケアマネジャー調査では「今後配食利用者は増えると思う」と答えた方は66%あった。ケアマネジャーの要望で多か

った事は味の向上、療養食実施、夕食配食であった。

- ③ 利用者調査で一番要望が多かったのは夕食配食。次に毎日配達であった。
まとめると、理想の配食は
 - ・ 価格負担が少ない
 - ・ 見守りの役割を果たす
 - ・ 昼食、夕食を毎日提供する
 - ・ 個人の嗜好や療養食の希望に沿う
 - ・ おいしくて温かい食事ということになる。

《まとめ》

在宅の高齢者が地域で元気に暮らしていくために欠かせない「食」の問題についてマザアス日野の役割は重大である。厨房では調理技術の向上を図り、おいしくてあたたかい配食を提供する努力を惜しまない体制を作る。そして施設として、配食を希望している方すべてに応えられる体制をどう整えるのか、夕食配達はどのようにするのか、実施に向けた計画を立てたい。またボランティアさんについても専任職員が必要な時期にきていると思われる。日野市も巻き込んで新しい配食の体制作りを模索したい。

《参考文献》

日野市 暮らしの便利帳 2008.2009 年度版

《提案と発信》

地域高齢者の配食サービスのニーズは今後ますます増加するだろうと思われます。増えていく配食希望者にどう応えていくべきか、今回の取り組みに参加したことで配食サービス全体を見ることが出来ました。今回の発表を一つの起点とし、マザアス配食サービスの体制をできるところから少しずつ変えていきたいと思います。

【メモ欄】追加資料 ☒ 有 ☐ 無